

第2回 内視鏡的胆道ドレナージの評価基準作成に関する研究会

代表世話人：伊佐山 浩通(順天堂大学)
会 期：5月15日(日) 12:30-15:00
会 場：国立京都国際会館 第5会場
開 催 形 式：Hybrid

内視鏡的胆道ドレナージに関わる臨床研究は多数ありますが、評価項目、評価基準がバラバラであり、Meta-analysisを行うのも困難でした。そのような事情から作成した Tokyo criteria は、本邦では大分浸透してきましたが、国際的な認知度は未だ低く、多様な胆道ドレナージには完全には対応できていないことがわかって参りました。今回、Tokyo criteria を改訂し新たな基準を作成することを計画し、内視鏡学会の附置研究会として活動することになりました。昨年には、各手技における問題点などを抽出し、発表していただきました。討論の結果から、共通の基準を作成し、そこに各手技の特殊性を考慮した付記項目を記載するというスタイルを採用することといたしました、本研究会では作成した共通項目と、各手技で付記すべき項目について発表、討論を行いたいと思います。本研究会に御参加の先生方と十分に討論し、より良い評価基準を作って行きたいと思っております。胆道ドレナージ・胆管ステントに関わる多数の先生方、企業の方々のご参加をお待ちしております。

研究会プログラム (12:30-15:00)

総合司会：伊佐山 浩通 (代表世話人)

開会の辞

山下病院 乾 和郎

第一部 (12:35-13:00)

司会：伊佐山 浩通 (順天堂大学)、安田一朗 (富山大学)

本会の趣旨説明 (5分)

順天堂大学大学院 医学研究科 消化器内科学 伊佐山 浩通 (順天堂大学)

Revised Tokyo Criteria のコンセプトと共通基準説明 (発表10分、討論10分)

濱田毅 (東京大学)、中井陽介 (東京大学)、藤澤聡郎 (順天堂大学)、
石井重登 (順天堂大学)、伊佐山浩通 (順天堂大学)

第二部各ワーキンググループからの提案 I (発表5分、討論5分)

司会：中井陽介 (東京大学)、北野 雅之 (和歌山県立医科大学)

- ① 遠位胆管狭窄(13:00-13:10)：**佐々木隆 (がん研究会有明病院)**、入澤篤志 (獨協医科大学)、伊藤 謙 (東邦大学医療センター 大森病院)、塩見英之 (兵庫医科大学)
- ② 肝門部胆管閉塞(13:10-13:20)：**中井陽介 (東京大学)**、河本博文 (川崎医科大学総合医

療センター)、向井 強 (金沢医科大学)、内藤 格 (名古屋市立大学)、深澤光晴 (山梨大学)、藤澤聡郎 (順天堂大学)

- ③ **EUS-BD (13:20-13:30) : 石井重登 (順天堂大学)**、北野雅之 (和歌山県立医科大学)、原和生 (愛知県がんセンター)、小倉 健 (大阪医科大学)

休憩 (10 分)

第三部各ワーキンググループからの提案Ⅱ (発表 5 分、討論 5 分)

司会 : 瀧沼朗生 (手稲溪仁会病院)、良沢 昭銘 (埼玉医大国際医療センター)

- ④ **小腸内視鏡 (13:40-13:50) : 島谷昌明 (関西医科大学総合医療センター)**、良沢昭銘 (埼玉医大国際医療センター)、加藤博也 (岡山大学)
- ⑤ **良性狭窄 (13:50-14:00) : 竹中完 (近畿大学)**、瀧沼朗生 (手稲溪仁会病院)、木暮宏史 (東京大学)
- ⑥ **ステント定期交換 (14:00-14:10) : 濱田毅 (東京大学)**、安田一朗 (富山大学)、杉森一哉 (横浜市立大学)
- ⑦ **胆管 Ablation (放射線、RFA、PDT など) (14:10-14:20) : 河上洋 (宮崎大学)**、糸井隆夫 (東京医科大学)、松原三郎 (埼玉医科大学総合医療センター)、菅野良秀 (仙台オーブン病院)

閉会の辞 (評価委員からのコメント)

みやぎ健診プラザ 藤田 直孝

◇問合せ先・事務局 :

順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科

〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1

担当者 : 藤澤 聡郎

電話 : 03-3813-3111

Fax : 03-3813-8862

E-mail : t-fujisawa@juntendo.ac.jp